

黒潮は、やや離岸して房総沖を北東に流れていました(図2)。
水温は、銚子・九十九里、外房海域いずれも概ね平年並でした(表1)。

【詳細】

水深0, 50, 100, 200mの水温は、銚子・九十九里海域の水深50m(平年よりやや低め)を除くと、いずれも平年並でした(表1)。

水深10mでは、沖が23℃以上となっており、その灘側に顕著な水温フロント(潮目)が形成されていました(図3)。また、九十九里沿岸は12月5～6日の降雨により低塩分化していました(図4, 6)。犬吠埼沖の水深350～450mには約6℃, 34.2PSU以下の低温・低塩分水が見られました(図5～6)。

黒潮は、やや離岸して房総沖を北東に流れていました(図2)。外房沿岸は黒潮流域になっていませんでしたが、2ノットほどと流れが速くなっていました。

クロロフィル濃度は、水深10mでは犬吠埼沖及び九十九里沿岸が1μg/Lほどになっていました。一方、水深50mのクロロフィル濃度は全域低めでした(図7)。

銚子沖のキンメダイ漁場の水温は、水深100m以浅は例年より2℃低く、150m以深は例年より1～2℃高くなっていました(図8)。

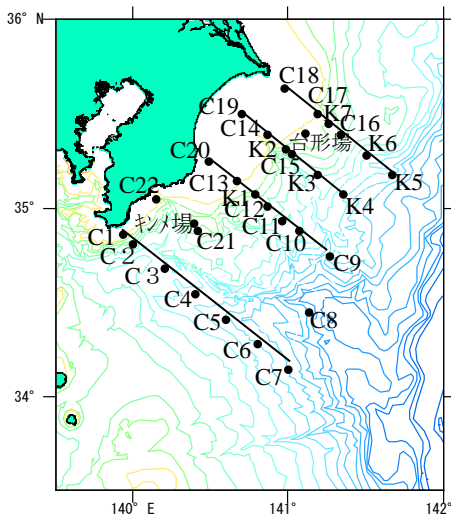


図1 調査点(キンメ場は欠測)
線は北から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島崎南東線

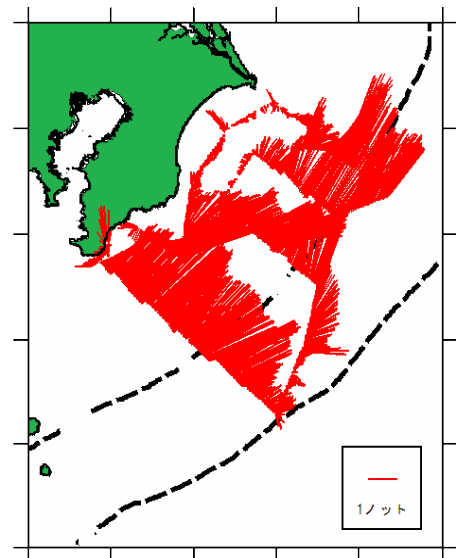


図2 黒潮流路(破線)と流況

表1 海域別平均水温(℃)と評価※

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	18.8 平年並	18.8 やや低め	17.7 平年並	13.7 平年並
外房	19.6 平年並	18.9 平年並	17.6 平年並	14.0 平年並

※ 下記により評価しています。

- ・使用している観測点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点, 外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点
- ・方法 下式で算出される値の高低で評価しています。

$$\frac{(x - x_{30})}{\sigma_{30}}$$

- x : 今年の平均水温
- x₃₀ : 直近30年の平均水温
- σ₃₀ : 直近30年の標準偏差

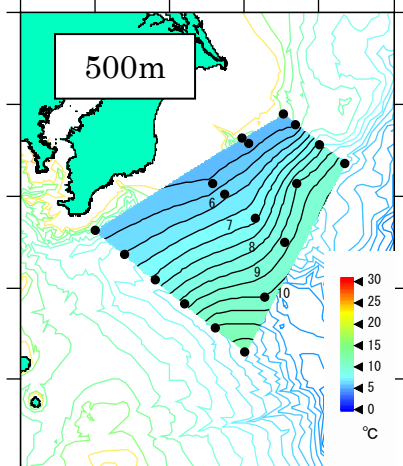
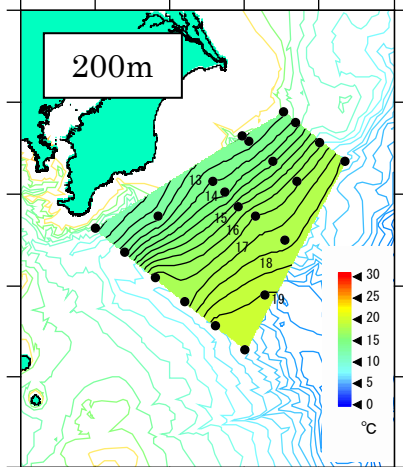
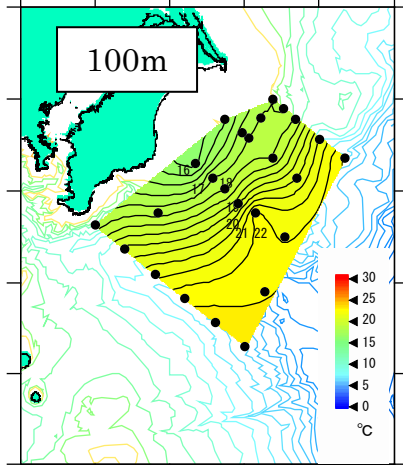
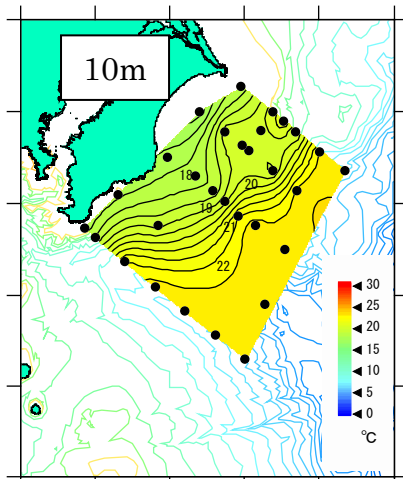


図3 水深別の水温分布

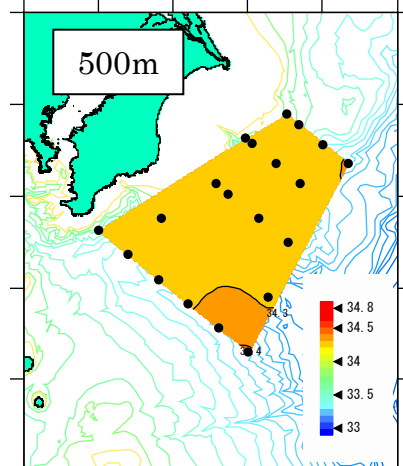
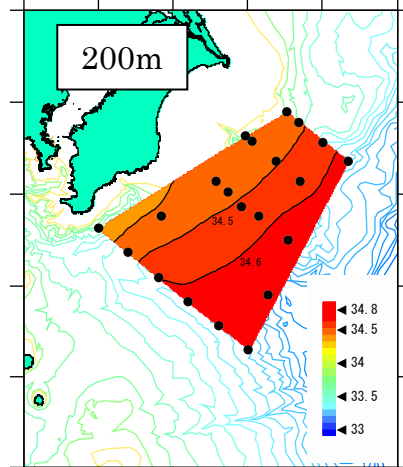
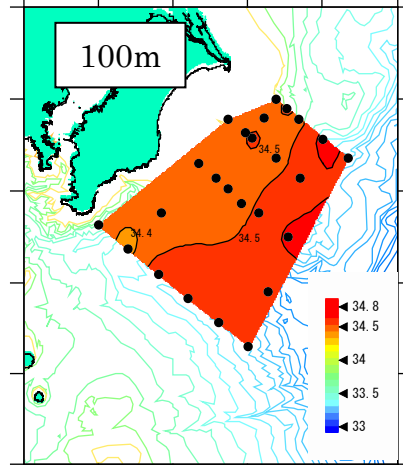
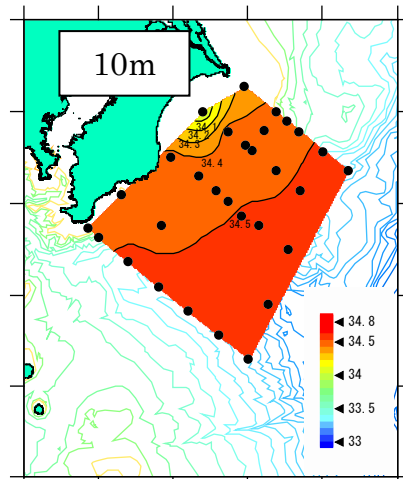


図4 水深別の塩分分布

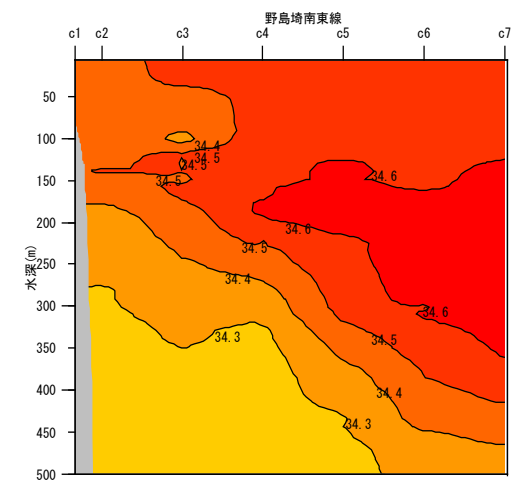
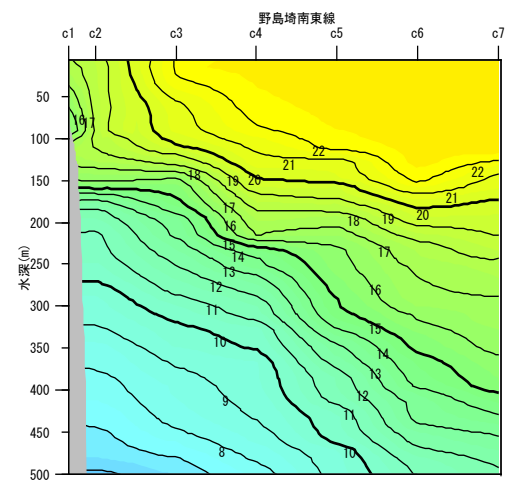
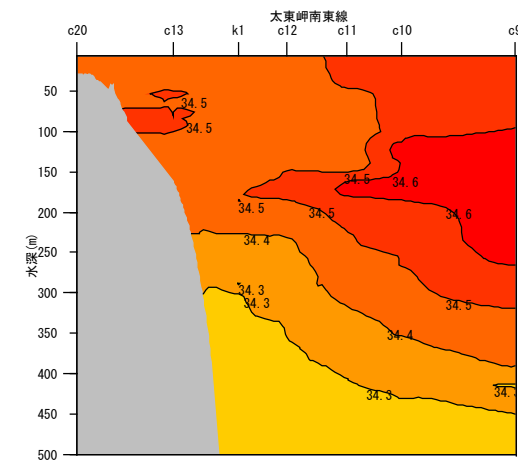
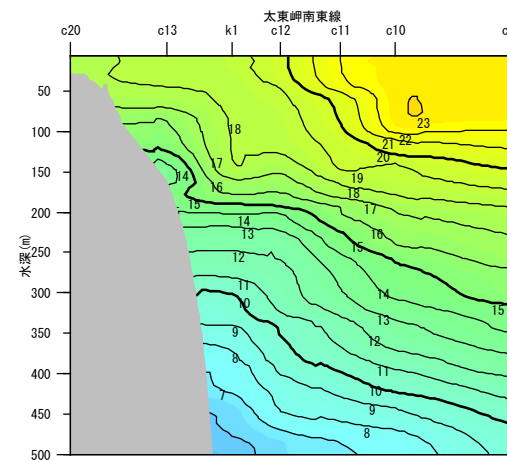
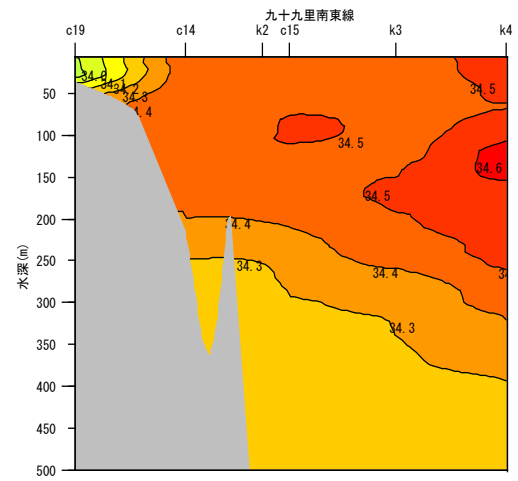
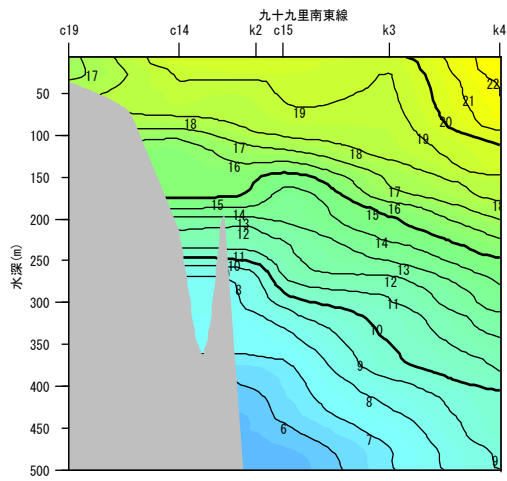
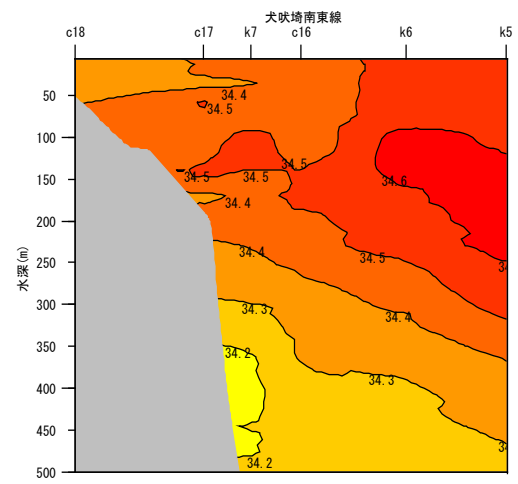
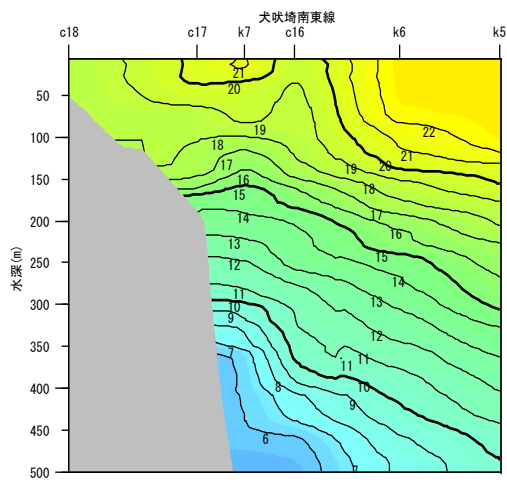


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼, 九十九里, 太東埼, 野島埼南東線 (図1 参照)

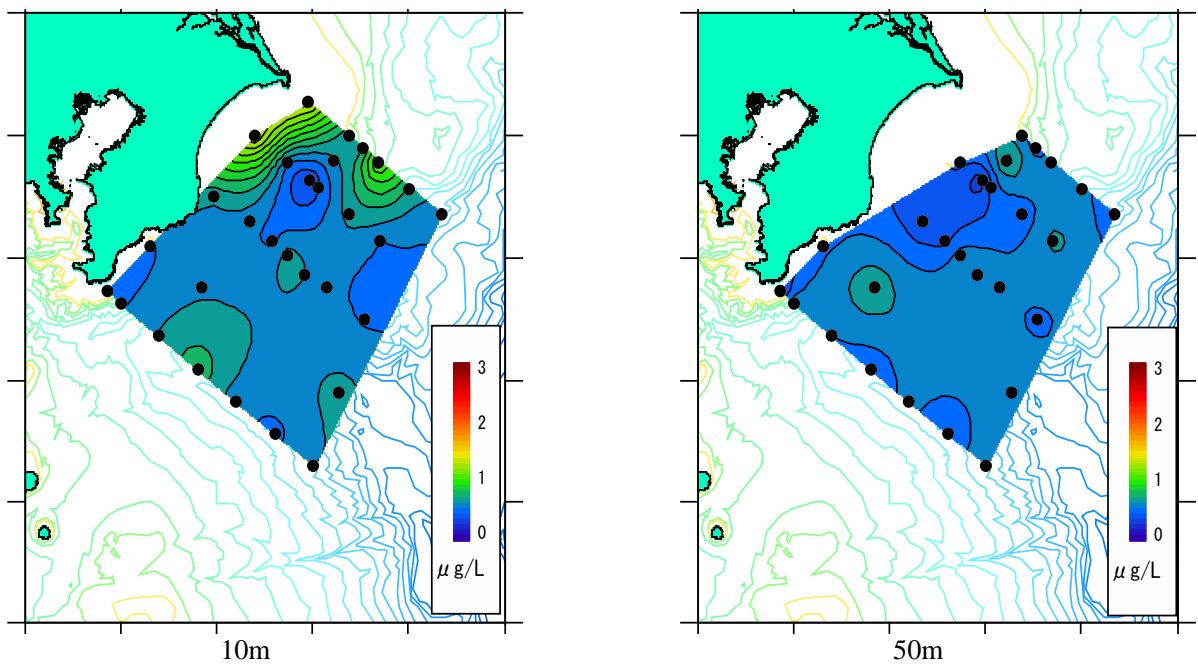
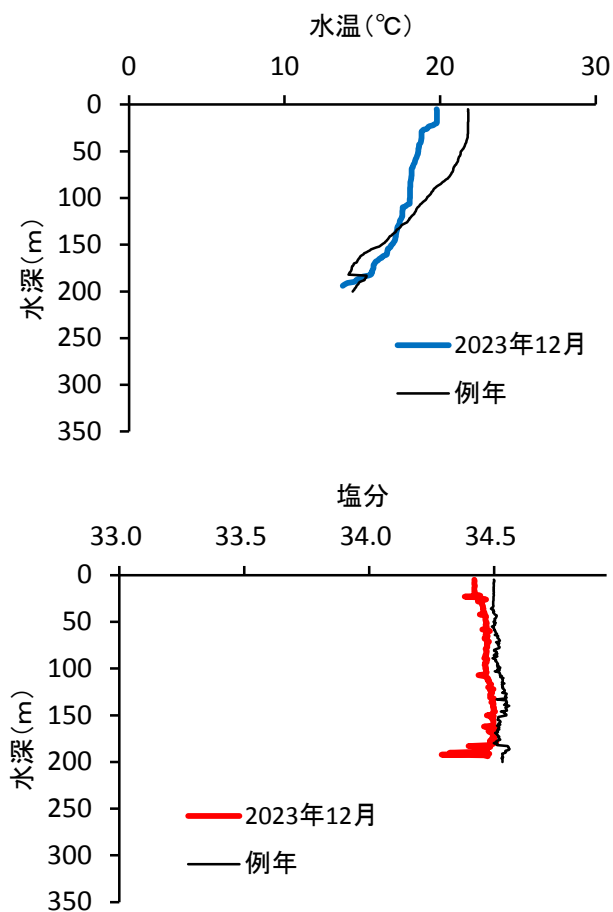


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



銚子沖キンメ場 (台形場)

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)